



平成 29 年 6 月定例会

大館市議会会議録 (第 3 号)

自 平成 29 年 6 月 6 日 開会
至 平成 29 年 6 月 22 日 閉会

大 館 市 議 会

6月6日（火曜日）

第1日目

平成29年6月6日（火曜日）

議事日程第1号

平成29年6月6日（火曜日）

○表彰状伝達（全国市議会議長会）

開 会 午前10時07分

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案等の上程

1. 報 第 4 号 平成28年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書
2. 報 第 5 号 平成28年度大館市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書
3. 報 第 6 号 平成28年度大館市都市計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書
4. 報 第 7 号 平成28年度大館市水道事業会計予算繰越計算書
5. 報 第 8 号 平成28年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書
6. 報 第 9 号 大館市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
7. 報 第 10号 一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について
8. 報 第 11号 株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出について
9. 報 第 12号 放棄した債権の報告について
10. 議案第 65号 大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案
11. 議案第 66号 大館市花岡総合スポーツ公園に関する条例案
12. 議案第 67号 財産の取得について（L G W A N接続系パソコン165台）
13. 議案第 68号 財産の取得について（除雪ドーザ1台）

14. 議案第 69 号 旧慣使用権の廃止について（城西町地内）
15. 議案第 70 号 平成29年度大館市一般会計補正予算（第1号）案
16. 議案第 71 号 平成29年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案
17. 議案第 72 号 平成29年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案
18. 議案第 73 号 財産の取得について（救助工作車1台）

出席議員（28名）

1番	石垣博隆君	2番	日景賢悟君
3番	武田晋君	4番	小畑淳君
5番	虻川久崇君	6番	中村弘美君
7番	畠沢一郎君	8番	伊藤毅君
9番	阿部文男君	10番	小棚木政之君
11番	藤原明君	12番	田村儀光君
13番	佐藤久勝君	14番	仲沢誠也君
15番	斉藤則幸君	16番	小畑新一君
17番	明石宏康君	18番	佐々木公司君
19番	吉原正君	20番	佐藤健一君
21番	田中耕太郎君	22番	相馬エミ子君
23番	岩本裕司君	24番	佐藤眞平君
25番	富樫孝君	26番	菅大輔君
27番	佐藤芳忠君	28番	笹島愛子君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市	長	福原淳嗣君
副市	長	名村伸一君
総務部	長	北林武彦君
総務課	長	阿部稔君
財政課	長	桜庭寿志君
市民部	長	成田政則君
福祉部	長	安保透君
産業部	長	一関雅幸君
建設部	長	嶋田均君

会 計 管 理 者	目 時 俊 一 君
病 院 事 業 管 理 者	佐々木 睦 男 君
市立総合病院事務局長	斎 藤 進 君
消 防 長	三 浦 勝 彦 君
教 育 長	高 橋 善 之 君
教 育 次 長	佐々木 修 君
選挙管理委員会事務局長	小 林 淳 一 君
農業委員会事務局長	三 澤 勝 君
監 査 委 員 事 務 局 長	金 子 広 英 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	萬 田 清 一 君
次 長	畠 沢 昌 人 君
係 長	長 崎 淳 君
主 査	伊 藤 雅 孝 君
主 査	高 橋 琢 哉 君
主 査	北 林 亘 君

午前10時07分 開 会

- 議長（佐藤久勝君） これより、平成29年6月大館市議会定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。
-
-

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（佐藤久勝君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員は、5番 虻川久崇君、6番 中村弘美君、7番 畠沢一郎君を指名いたします。
-
-

日程第2 会期の決定

- 議長（佐藤久勝君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日から6月22日までの17日間と定めたいと思います。
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（佐藤久勝君） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日から17日間と決定いたしました。
なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますからさよう御了承願います。
-
-

日程第3 議案等の上程

- 議長（佐藤久勝君） 日程第3、議案等の上程を行います。
報第4号から同第12号まで、及び議案第65号から同第72号まで、並びに本日送付ありました議案第73号の以上18件を一括上程いたします。
提出者の説明を求めます。

〔市長 福原淳嗣君 登壇〕

- 市長（福原淳嗣君） 6月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、3月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、危険空家等解体撤去費補助金事業について。

市では昨年度、大館市空家等対策計画を策定し、市民の住生活環境の保全、空き家等の発生

の抑制と利活用の推進などに取り組んでいるところであります。ことし4月には、大館市危険空家等解体撤去費補助金制度を創設し、50万円を上限として特定空家に認定した危険空家等の解体撤去費用の2分の1を補助することとしており、さらに補助金利用者の利便性を高めるため、金融機関と解体ローンの金利優遇に関する覚書を締結しております。広報や市ホームページで補助金利用者を募集したところ5月23日現在で20件の相談を受けており、その都度行っている危険度判定調査の結果からは、危険性が高い空き家は10件程度となっております。今後、空家等対策検討委員会で協議し、特定空家として認定した場合は速やかに補助金を交付してまいります。

2、地方創生への取り組み状況について。

本市では、総合戦略に基づき昨年度は地方創生推進交付金等を活用し、北秋田市・小坂町・上小阿仁村との広域連携観光振興事業である地域連携DMO形成事業、首都圏等からの移住促進を目的とした大館版C C R C事業、北秋田市・小坂町と連携し地域資源による新商品開発などに取り組む地域産品磨き上げ事業、県との連携による「秋田犬」活用による観光地域づくり推進事業や働くパパママ応援企業啓発事業など、交流人口の拡大に向けたさまざまな施策を展開してきたところであります。今年度は、これらの事業を継続して実施するとともに、地方創生拠点整備交付金を活用したペットと泊まれる宿泊施設整備事業を進めており、ベニヤマ自然パークについては8月のオープンを目指しコテージ2棟の改修工事を行っているところであり、五色湖ロッジについては来年4月のオープンを目指し実施設計に取り組んでおります。そのほか、地元企業の中核を担う人材確保を目的とした大館市奨学金等返還支援助成金事業、これまで現金給付していた長寿祝い金などを商品券で支給する地域限定商品券事業や第一子の出生を促進するための、はちくんすくすく子育て支援事業などを創設したところであります。さらに、地方創生拠点整備交付金事業の第2次募集が示されたことを受け、田代スポーツ公園内のオートピクニック広場と、たしる温泉ユップラを活用したペットと泊まれる宿泊施設整備事業を申請し、5月31日付で交付の決定をいただいたところであります。なお、本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

3、補助金返還請求訴訟の判決について。

平成27年6月にオピシステム通信工業株式会社が市を相手方として提起した債務不存在確認請求訴訟に対する反訴として、市が提起した補助金返還請求訴訟について5月25日に判決が言い渡されましたので御報告申し上げます。この訴訟は、25年度及び26年度に県の緊急雇用創出等臨時対策基金事業を活用して実施した市民向けサイト構築事業において、業務仕様書に定めていた新規雇用者5人のうち1人が当該業務に従事していなかったことが判明したことを受け、受注者である同社に対し雇用者1人分の人件費と物件費を合わせた237万3,120円などを返還するよう求めていたものであります。秋田地方裁判所の判決は「反訴請求を棄却する」とするものであり、市側敗訴の結果でありました。判決理由としては、就業時間外において委託業務以

外に従事していることは認められるものの、当該業務に従事していなかったという事実は認められず、本市が主張する不法行為に基づく補助金返還請求には理由がないとなっております。市の主張が退けられた内容であり、大変遺憾でありますことから訴訟代理人である本市の顧問弁護士に依頼の上、仙台高等裁判所秋田支部に6月5日付で控訴状を提出いたしました。なお、訴訟に関する費用につきましては、予備費を充用して対応してまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

4、平成28年度の決算見込みについて。

主な会計について御報告申し上げます。まず、一般会計の決算状況は歳入総額366億6,100万円、歳出総額353億3,600万円で歳入歳出差し引き額は13億2,500万円と見込んでおります。29年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は12億1,000万円で27年度決算と比べ4億8,100万円ほどの減となる見込みであります。主な事業成果としては、矢立公民館整備事業、中央図書館分館整備事業、長木公民館改築事業が完了したほか、道路・橋梁の改良事業、市営住宅ストック総合改善事業、長根山陸上競技場整備事業などを計画的に実施しております。次に、各企業会計の収益的収支の決算状況につきましては、水道事業会計で1億2,200万円、工業用水道事業会計で500万円の単年度純利益を、また、下水道事業会計では5,100万円の単年度純損失をそれぞれ見込んでおります。病院事業会計については、総合病院で4億2,100万円、扇田病院で4,200万円の単年度純損失を見込んでいるところではありますが、本年3月に策定した経営改革プランに基づき病床利用率と平均在院日数の管理、地域包括ケア病棟活用等の収益確保策や経費削減策に取り組み、病院経営基盤の安定・強化に努めてまいります。

5、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について。

平成27年から八戸市・一関市と本市が連携して行ってきた2020年東京オリンピック・パラリンピックのメダルに回収金属を活用する提案活動が実を結び、本年4月、大会組織委員会が「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を立ち上げました。市では、このプロジェクトの受け入れ態勢が整ったことから6月1日にメダル用小型家電の回収をスタートしました。回収場所は以前から市内に設置しているこでん回収ボックスとし、回収品目もこれまでと同様としておりますが、本プロジェクトを契機として小型家電リサイクルの重要性を周知するとともに、さらなる回収量の増加を目指してまいります。また、この取り組みを秋田県全体に展開させるため、小型家電リサイクル発祥の地であり、いち早くリサイクルメダルを提案した本市が先導役となって県と県内市町村が連携し、課題の抽出や対策を検討する場の創設に向けて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

6、環境マネジメントシステムの取り組み状況について。

平成28年度の主な結果を御報告します。「環境汚染の防止」では、市と大館市EMSネットが共同で開催した大館市エコフェアと10周年記念事業の3R推進シンポジウム、大館ライトダウンデー等の事業を通じて環境意識の浸透・高揚が図られるなど、17項目中16項目で目標を達

成することができました。また、22年度対比では、電気自動車の導入などにより公用車燃料使用量が11%減少しているほか、水道使用量が35%削減されるなど、トータルでは約271トンの二酸化炭素の排出抑制と約1,420万円の経費削減が図られております。次に「自然と共生し、安全・安心に暮らせるまちづくり」では、LED街灯の導入補助基数、合併浄化槽設置基数、公共下水道水洗化戸数について順調に目標を達成しており、エコプラザにおける3Rの普及啓発活動については各事業における取扱量・来館者ともにふえております。「持続可能なまちづくり」では、ペットボトルキャップリサイクル事業、こでん回収、コンポスト事業について目標を達成し、特に廃食用油回収事業については目標を大幅に上回りました。市では、今後も環境マネジメントシステムを活用してさらなる環境負荷の低減に努めてまいります。

7、ねんりんピック秋田2017大館市交流大会について。

9月9日から11日にかけて開催される大会に向け、円滑な運営と大館らしいおもてなしを行うため準備を進めているところであります。今月一日には、市民の機運を醸成するため、開催100日前イベントとして市役所本庁と両支所の庁舎に垂れ幕を設置したほか、城南保育園の園児などによる、はちくんダンスや、婦人会による花いっぱい運動のスタートセレモニーを行いました。全国から集まる選手・役員等は、これまで前例のない2,500人規模となる見込みで各競技に加え、健康づくり教室や特産品によるおもてなしなどの事業を予定しております。また、大会期間は大館神明社の祭典と重なっていることから大館の魅力を知っていただく絶好の機会と捉え、延べ750人の市職員を動員して万全の体制で運営に当たることとしております。オール大館のおもてなしを実現するため、大会協賛や市民ボランティアの募集も行っているところであり、市民の皆様の御理解・御協力をお願い申し上げます。

8、農作物の生育状況等について。

基幹作物である水稲は、平年どおり4月10日から播種作業が始まり4月17日に盛期を迎え、その後平均気温・日照時間も平年並みに経過したことにより出芽ぞろい・苗の生育ともにおおむね良好であります。耕起作業は4月下旬の降雨により平年よりおくれましたが5月の好天により作業が進み、田植え作業は5月10日ごろから始まり、終期も5月28日と平年どおり作業は進みました。野菜については、山の芋の定植作業は平年より3日遅い5月4日ごろから始まり、平年並みの今月上旬までに終了する見込みです。アスパラガスは、春どりは平年より4日遅い5月9日から収穫が始まり、今月上旬までに終了する見込みです。また、ネギの定植作業は平年どおり4月20日ごろから始まり、今月中旬までに終了する見込みです。果樹は、3月の気温が平年より低めに推移したことから発芽は平年より遅く、梨は平年から2日遅く5月6日より、リンゴは2日早く5月9日から開花が始まり、開花量は十分な状況にあります。今後も気象動向を見きわめ、農作物の管理を徹底するよう注意喚起するとともに、JAなど関係機関と連携して対応してまいります。

9、「大館とんぶり」の地理的表示保護制度登録について。

5月26日、農林水産省の地理的表示（G I）保護制度に「大館とんぶり」が県内で初めて登録されました。この制度は、農産物等の品質や社会的評価などの特性が産地と強く結びついている製品について、その名称を知的財産として保護し国が品質を保証するものであり、特産松阪牛や夕張メロンなど35品目が登録されております。このたびの登録により登録品にG Iマークを表示することができ、地域ブランド「大館とんぶり」として差別化が図られるほか、海外においてもジャパブランドであることが明示されるなどのメリットがあります。申請を行ったJAあきた北では、海外市場も視野に入れながら登録の優位性を強くアピールしていくこととしており、市においてもマーケットインによる販売力強化を支援しながら「大館とんぶり」の生産拡大に努めてまいります。

10、林業成長産業化地域創出モデル事業について。

4月28日、秋田杉の主要産地である大館市・北秋田市・上小阿仁村の2市1村が連名で応募していた林業成長産業化地域創出モデル事業に、大館北秋田地域が選定されました。この事業は、戦後造林した人工林が本格的な利用期を迎える中、森林資源の循環利用を進め川上から川下までの林業の成長産業化を図ることにより、地元利益を還元し地域の活性化に結びつける取り組みを推進するものであります。大館北秋田地域構想では、確実な資源循環に基づく木材の自給率向上に寄与することを目的として、関連産業の生産量増大や雇用拡大と、それを可能にするための需要創造や流通構造の革新を目指すものとなっております。本地域が選定されたことを受け、2市1村ではことしの夏をめどに製材加工業者や森林組合などの関連事業者と協議会を設立し、国・県と連携しながら林業を軸とした民間主導での成長産業ビジネスモデルの実現に向けた取り組みを進めてまいります。

11、地域経済・雇用対策について。

本年4月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は1.24倍と去年同期との比較で0.09ポイント増加しており、27年5月以降、有効求人倍率1倍台が続いております。また、今春の新卒者の就職状況については、市内の高校、秋田職業能力開発短期大学校・秋田看護福祉大学の就職率がいずれも100%となり6年連続で全ての新卒者が就職できました。一方、中小企業在職者や求職者、高校生のスキルアップを支援する資格取得支援事業では、28年度は214人、54種類の資格取得に対し総額799万円の補助を行っており、今年度も引き続き資格等の取得経費の2分の1、最大10万円を補助してまいります。昨年度創設した創業支援補助金制度では、創業者8人に331万円の補助を行っており、うち女性の創業が4件、40歳未満の創業が4件となっております。市の制度融資であるマル大融資については、融資限度額を増額した27年度以降利用が増加しており、28年度実績は対前年度比で件数が4%増の247件、融資額では9%増の25億7,600万円となりました。条例に基づく指定工場については、4月1日現在で73事業所、従業員数は5,164人となり去年同期比で224人増となりました。市では、今後も中小企業の人材確保や在職者のスキルアップ、競争力向上、創業支援など「ものづくり」支援を推し進めるとともに

に、民間投資と労働力の確保が図られるよう取り組んでまいります。

12、サテライトオフィス事業の進捗状況について。

4月からベニヤマ自然パーク内コテージにおいて、サテライトオフィスお試し勤務体験の受け入れを開始しております。ウェブデザインやシステム開発などIT関連を初めとするさまざまな企業から申し込みがあり5月31日現在、10社22人がお試し勤務を終え、18社60人が予約済みとなっているほか、12社から打診をいただいております。この事業に対する関心の高さを実感しているところであります。また、お試し勤務を体験された方からは、執務環境に対する感想や提案をいただいたほか、おおだて満喫体験を通じては豊富な地域資源を生かし切れていないなどの意見もいただいております。今後も島根県松江市との合同PRイベントを開催するほか、さまざまな事業説明会に参加し、さらなるお試し勤務体験企業の獲得に努めることでより多くの企業の声を反映した大館市独自の誘致戦略を策定し、将来のサテライトオフィス誘致につなげたいと考えております。

13、職の窓口「活jobおおだて」の開設について。

本年4月、三ノ丸庁舎内に秋田労働局の職業紹介機能を有する職の窓口「活jobおおだて」を開設しました。この相談窓口は、秋田労働局と本市が一体となって管内の雇用課題に取り組むために設置したものであり、県内初の試みであります。7月の本格稼働に向けて求人情報提供端末などの設置を進めておりますが、現在はハローワーク大館から派遣された就職支援ナビゲーター1人が相談業務に当たっており、4月に119件、5月には134件の相談が寄せられております。今後も有効求人倍率が24カ月連続で1倍を超えるなど人手不足が続く大館管内の雇用課題の克服に向け、秋田労働局と市の各部門が連携し若年者の地元就職、女性の就業環境整備と雇用拡大、高年齢者や福祉関係支援対象者の就労支援などに取り組んでまいります。

14、比内ベニヤマ荘の休業について。

ことし3月、比内ベニヤマ荘の男女両方の浴槽から漏水が確認されました。浴室全体に敷設されている防水シートの破損が疑われましたが、コーキングやタイル張りかえ等による補修での対応は困難であったため3月11日から入浴及び宿泊を休止し、4月5日からは食堂及び日帰り宴会の利用も休止しております。今回の休業を受け、大葛地区からは早期再開の要望が出されており4月26日、現状について教育産業常任委員会に報告するとともに、大葛地区への説明を行ったところであります。ベニヤマ自然パーク内のコテージ及び大葛金山ふるさと館は通常どおり営業しており、今後の方向性については地区住民の方々や指定管理者と協議を行いながら議会に相談してまいりたいと考えております。また、本定例会に比内ベニヤマ荘の休業に伴う指定管理料の見直しに係る関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

15、一般社団法人秋田犬ツーリズムの活動状況について。

昨年4月に設立した地域連携DMO一般社団法人秋田犬ツーリズムは、市町村の枠を超えた

連携を通じて稼げる観光地域づくりを進めてまいりました。平成26年と28年の比較では、秋田犬ツーリズムエリアにおける観光入込客数は274万人から301万人と10%増加しており、観光消費額の推計では287億6,900万円から306億6,500万円と7%増加しております。内容を分析しますと、国内旅行需要が全国的に冷え込み国内宿泊旅行の延べ宿泊者数が国・県ともに減少している中、当エリアでも32万9,493人泊から32万1,503人泊と2%の減少となったものの、外国人宿泊数については5,308人泊から8,203人泊と55%の大幅な増加となっており、滞在日数が長い外国人旅行客が観光消費額増加の一因となったものと考えております。また、5月9日、10日の2日間、外務省との共催で行われた駐日外交団秋田県北部視察ツアーでは、17カ国23名の大使らが当エリアを訪れ、歴史や産業、観光施設などを視察されました。当エリアに対する大使らの評価は非常に高く今後の誘客に確かな手応えを感じたところであり、インバウンド誘客を進めるため引き続き台湾をメーンターゲットとした外国人旅行客の誘客に取り組んでまいります。

16、春季イベント及び3D連携事業の開催状況について。

(1)大館桜まつり。

4月20日から5月3日までの14日間にわたり開催され、約1万5,000人の来園者でにぎわいました。期間中は晴天に恵まれ多くの方々に桂城公園の桜をお楽しみいただきました。また、5月3日の第136回秋田犬本部展には約180頭の秋田犬が出陳され、海外からのお客様も含め多くの秋田犬ファンを魅了しました。

(2)北東北&北海道グルメフェスタ、肉の博覧会。

5月5日から7日までの3日間、ニプロハチ公ドームを会場に開催された北東北&北海道グルメフェスタ2017及び第3回肉の博覧会inおおだては、ドームでの観光イベントとしては過去最高となる13万8,000人の来場者でにぎわいました。初開催となったグルメフェスタは、3D連携を基軸にした交流拡大事業のキックオフイベントであり、会場内では3D連携市町を初めとした観光PRが行われたほか、北東北と北海道の食を一堂に集めたゾーンも大盛況でした。さらに、ステージイベントとしてニプロハチ公ドームネーミングライツ記念セレモニー、JR大館駅観光駅長に任命された秋田犬「あこ」と「飛鳥」のお披露目が行われたほか、AKB48チーム8（エイト）や、まちあわせハチ公ガールズのライブなど盛りだくさんの内容で会場を沸かせました。また、肉の博覧会では、県内外57業者が出店し比内地鶏や秋田牛、大館さくら豚など11種類の肉を使ったさまざまな料理が販売され、長蛇の列ができるほど大盛況でした。大館食の祭典協議会及び関係者の皆様には、短い準備期間であったにもかかわらずイベントの運営に御尽力いただきましたことに深く感謝を申し上げます。また、来場されてイベントを盛り上げていただきました佐竹知事御夫妻にも、この場をかりて厚く御礼申し上げます。

(3)函館市視察訪問。

5月19日、大館市・小坂町・仙北市から各首長、佐藤新議長を初めとする各議長、観光関係

者を含む計36人が函館市を訪問しました。各自治体代表者と函館市長及びJR函館駅長との意見交換会や市内観光施設の視察のほか、約70人が参加して行われた懇談会では、函館市の観光関係者へ3D連携自治体の観光をプレゼンするなど、相互の観光情報を共有することができました。今後、函館空港と北海道新幹線を有する函館から東北へ、東北から函館への人の流れをつくる周遊ルートを早期に形成するとともに、工藤函館市長からは「北海道にはない秋田の魅力を発信することが重要」とした御提言をいただいたことから3Dネットワークの強化と広域連携のきずなを深め、交流人口の拡大を目指してまいります。

17、国民保養温泉地の指定について。

このたび、雪沢温泉・矢立温泉・大滝温泉・たしろ温泉・大葛温泉・市街地区域の6地域が大館ぐるみ温泉郷として国民保養温泉地に指定され、5月15日に環境省で行われた指定式に出席し、関環境副大臣から指定状を受け取ってまいりました。昨年9月には温泉・食・ウォーキングによる地域体験を観光客に提供し地域の活性化を目的とする、一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズムの設立に参画しており、今回の指定は6月10日に開催される、ONSEN・ガストロノミーウォーキングinハチ公の里大館温泉郷への弾みになるものと考えております。今後は指定された地域ごとに特色ある温泉地の形成を目指すとともに、食文化との融合などにより市内温泉地の活性化と利用促進を図るため、さまざまな施策を展開してまいります。

18、平成28年度の除雪状況について。

28年度は、降雪が少なく推移し累計降雪量は過去10年間の平均より116センチメートル少ない334センチメートル、最大積雪深も豪雪だった26年度の3分の1程度である36センチメートルと、27年度に引き続きここ数年にない少雪となりました。除雪委託業者の7割以上が出勤した回数は、大館・比内・田代地域で延べ30回となり前年度と同数となったものの、山間部の降雪、四度の降雨や気温上昇による緩み、わだちの対応などが例年以上に必要であったことから除排雪経費は約5億2,000万円となっております。これまで朝方の降雪など状況に応じた出勤指示等が課題でありましたが、導入した除雪車運行管理システムや降雪センサーを活用することによって迅速な対応ができるようになり、例年1,000件を超えて寄せられていた除雪に係る要望等は減少しております。本年度も除雪計画に基づいた初期除雪の徹底や、固定資産税の減免制度による雪寄せ場の確保などを引き続き実施するとともに、導入した除雪車運行管理システムの課題に取り組みながら的確かつ効率的な除排雪に努めてまいります。

19、歴史まちづくりの取り組みについて。

議員の皆様を初め多くの市民から御意見と御助言をいただきながら策定を進めてきた大館市歴史的風致維持向上計画は、3月17日に文部科学省・農林水産省・国土交通省の認定を受け、翌日開催した大館市歴史まちづくりシンポジウムには葛西弘前市長・門脇仙北市長・高橋横手市長に御出席いただき、200人を超える参加者とともにまちづくりの方向性や交流人口拡大の

可能性を見出すことができました。また、4月と5月には国土交通省東北地方整備局長や建政部長が本市の現地調査に入り、多様な観点から本市のまちづくり方策に対する力強い激励と御指導をいただいたところであります。今後は、国の財政支援を得ながら歴史的風致形成建造物所有者への補助制度を新設しその活用と保全を図り、あわせて大館城本丸跡の再整備やソフト事業の充実などニーズにかなう施策に関係者と一緒に取り組むこととしているほか、6月には浅利氏ゆかりの独鈷の歴史的風致をめぐるまち歩き、秋には、とうほく街道会議や公開研究会を開催し、歴史や文化を学ぶ取り組みを丹念に積み重ねながらシビックプライドの醸成に努めてまいります。

20、春のスポーツイベントの開催状況について。

4月29日、65回目となる山田記念ロードレース大会が長根山陸上競技場を発着点とする市街地コースで開催されました。当日は、ゲストランナーとして世界陸上マラソン優勝者の浅利純子さんのほか、東京ガールズコレクション公式ランニングチーム「TOKYO GIRLS RUN」から2人をお迎えし、福岡県や高知県からの参加者を含む1,631人が雨まじりのあいにくの天候の中、市内を力強く走り抜けました。また、4月29日、30日の2日間にわたり、プロバスケットボールBリーグ秋田ノーザンハピネッツの大館大会がタクミアリーナで開催されました。市内外から4,500人を超えるファンが訪れ、交流人口拡大を積極的に推進している本市にとりまして本大会の開催は大変意義深いものでありました。5月31日には、5回目の挑戦となるチャレンジデーが岩手県北上市を対戦相手として開催されました。今回は、ふれあい運動会や乳児を対象とした、はいはいレースなどの新規イベントを実施したほか、あらゆる年代が参加しやすいメニューを整え、市民一丸となって取り組んだ結果、参加率が市66.4%、北上市65.5%となり第3回以来の勝利を得ることができました。各種イベントの開催に当たり、御協力をいただいた多くの市民・団体・企業の皆様に改めて感謝申し上げます。

21、栗盛記念図書館と松下村塾のリニューアルオープンについて。

栗盛記念図書館の増改築工事と図書館隣接地への松下村塾移築工事が完了し、4月4日に竣工式を行いました。栗盛記念図書館に増築した多目的室は、主に親子の読書スペースとして好評を得ており、併設したラウンジは軽食を気兼ねなくとることができるスペースとなっております。松下村塾につきましては、4月の一般公開の期間中多くの方々に訪れていただき、記帳された方だけでも129人に上っております。また、5月には移築記念事業として生涯学習発表月間 in 松下村塾を実施し「これからの小学校英語教育」と題した講座を開催したほか、伝統芸能に触れるイベントとして日本舞踊や生け花、茶会を開催し、多くの市民の方々に松下村塾の風情を楽しんでいただきました。今後も栗盛記念図書館及び松下村塾を市民版ふるさとキャリア教育の拠点の一つと位置づけ、さまざまな学習の場として活用してまいります。

続きまして、提出いたしました議案等につきまして主な内容を御説明申し上げます。

報第4号は、国の28年度補正予算に対応して翌年度への繰り越しを御承認いただいた事業な

ど合わせて16件、総額6億7,240万6,490円を本年度に繰り越したことに係る平成28年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書であります。

報第5号は、農業集落排水施設改修事業の工事請負費等を繰り越したことに係る平成28年度大館市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書であります。

報第6号は、御成町南地区土地区画整理事業の建物移転補償費を繰り越したことに係る平成28年度大館市都市計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書であります。

報第7号は、一般国道7号長倉地区電線共同溝工事の一部が年度内に終了できず、工事請負費を繰り越したことに係る平成28年度大館市水道事業会計予算繰越計算書であります。

報第8号は、米代川流域下水道事業建設負担金について、工事の一部が年度内に終了できず、市の負担金を繰り越したことに係る平成28年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書であります。

報第9号は大館市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について、**報第10号**は一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について、**報第11号**は株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出についてであり、いずれも市が出資する法人の平成28年度の経営状況及び29年度の事業計画等について御報告申し上げるものであります。

各出資法人の損益の状況につきましては、経営状況に関する説明書に記載しておりますとおり、土地開発公社は当期純損失が28万5,710円、文教振興事業団は当期一般正味財産増減額が962万8,997円の増、県北環境保全センターは当期純利益が801万5,718円となっております。

報第12号は、放棄した債権の報告についてであります。

これは、大館市債権の管理に関する条例第6条第1項の規定に基づき、平成28年度に権利を放棄した市の債権について御報告申し上げるものであります。

議案第65号は、大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案であります。

これは、市営新町住宅及び市営中町住宅の建てかえに伴い、共同施設として新たに集会所及び駐車場を設置することから所要の措置を講じようとするものであります。

議案第66号は、大館市花岡総合スポーツ公園に関する条例案であります。

これは、秋田県から譲渡された旧大館工業高等学校のプール、運動広場及び室内運動場を広域的スポーツ活動の場となる総合スポーツ公園として活用するため、本条例を制定しようとするものであります。

議案第67号及び**議案第68号**は、財産の取得についてであります。

議案第67号は老朽化等により交換が必要なパソコン165台を更新しようとするもの、議案第68号は比内除雪ステーションに配備している老朽化した除雪ドーザ1台を更新しようとするものであります。これらの物品の購入については、予定価格が2,000万円以上であることから地方自治法及び本市条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案第69号は、旧慣使用权の廃止についてであります。

これは、個人の住宅用地として土地を処分するため、根下戸部落が旧慣使用权を有する土地の旧慣使用权を廃止しようとするものであります。

議案第70号は、平成29年度大館市一般会計補正予算（第1号）案であります。

今回の補正は、歳入歳出とも2億3,069万1,000円の追加で補正後の予算総額は330億7,033万9,000円となる見込みであります。主な内容としましては、ふるさと応援寄附基金積立金を追加、市民文化会館外壁改修工事費を計上したほか、国の地方創生拠点整備交付金を活用したペットと泊まれる宿泊施設整備事業費を計上したものであります。また、国の28年度予算補正に伴い昨年度3月に追加補正させていただいたもののうち、本年度当初予算と重複していた部分について減額しようとするものであります。

さらに、第2条第2表に地方債の補正を御提案申し上げております。

議案第71号は、平成29年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案であります。

主な内容としましては、各財産区勘定における土砂売り払い収入を各財産区財政調整基金に積み立てようとするものであります。

議案第72号は、平成29年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で補正後の予算総額は14億7,257万4,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。こちらも支出のみの補正で補正後の予算総額は10億7,499万円となる見込みであります。

議案第73号は、本日提出しました議案で財産の取得についてであります。

これは、老朽化した救助工作車を更新しようとするもので予定価格が2,000万円以上であることから地方自治法及び本市条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案等の概要につきましては、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

○議長（佐藤久勝君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

○28番（笹島愛子君） 議長、28番。

○議長（佐藤久勝君） 28番。

○28番（笹島愛子君） 市長に2点お聞きします。1点目は議案第73号についてです。救助工作車を購入する理由に「老朽化した」とありますが、いつ購入したのかを教えてくださいと思います。また、今までどこで管理していたのか、今後の担当課はどこになるのかも教えてください。

2点目は、市長から行政報告がありましたが、補助金返還請求訴訟の判決についてです。新聞報道を見ますと県も30万円の返還を求めていたとのことですが、この控訴状を提出するに当

たって県と話し合い等をしているのでしょうか。また、訴訟に係る費用には予備費を充用すると言っていますが、どのくらいと見込んでいるのでしょうか。さらに、和解について検討したのかもお聞きします。

○市長（福原淳嗣君） 議長。

○議長（佐藤久勝君） 市長。

○市長（福原淳嗣君） ただいまの笹島議員の御質問にお答えいたします。1点目の議案第73号につきましては、救助工作車は平成5年に購入しておりまして既に24年経過しています。

2点目のオピシステムに関する控訴の件は、債務不存在に関して承服しかねるという観点で控訴したものであり、県との協議は確実に進めております。また、和解に関しては、提案をいたしました但し、和解できないということになり、今回の事態になったことを御理解いただきたいと思っております。以上です。

○28番（笹島愛子君） 議長、28番。

○議長（佐藤久勝君） 28番。

○28番（笹島愛子君） わかりました。議案第73号について、今までどこで管理していたのか、今後どこで管理するのかも教えていただきたいと思っております。

○市長（福原淳嗣君） 議長。

○議長（佐藤久勝君） 市長。

○市長（福原淳嗣君） ただいまの笹島議員の再質問にお答えいたします。管理していたのは消防でありまして、今後も消防で管理をさせていただきます。以上です。

○議長（佐藤久勝君） ほかに御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤久勝君） これにて、質疑を終結いたします。

○議長（佐藤久勝君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、6月12日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前11時02分 散 会
